

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '入札契約事務' and '0603 時代に合った自治体運営'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on bid contract procedures and costs.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 工事契約件数, 入札参加資格者数) across years 05 to 09.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume (事業費) and personnel (正規職員従事人数) from 05 to 09. Includes a '期間限定総投入量' column.

Table showing 06年度事業費実績 (千円) and 07年度事業費予算 (千円) with sub-items like 委託料, 使用料, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 07, 08, and 09年度の実施内容, detailing activities like committee meetings and contract execution.

		1) 実施、寺殿格1)の更新(2年毎)			
事務事業名	入札契約事務	事務事業No.	60302000063	所属課	財政課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 入札契約事務は、法律に基づく事務事業で、自治体が業務を開始した時期と同時期に開始された。市では、平成19年度に入札での予定価格の事前公表、平成24年度から一般競争入札の対象の拡大、令和2年度から郵便入札を実施している。令和6年度からは、電子入札システムを導入。入札参加資格審査は、平成30年度より茨城県の共同受付に参加し、建設工事及び建設コンサルタント業務委託の受付業務を委託した。なお、令和5年度に入札契約事務と建設工事等入札参加資格審査事業を統合。					
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 条件付き一般競争入札の参加範囲の見直しと対象工事の設計金額の引き下げ					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 入札事務は専門性の高い事務のため、一定金額以上の入札契約行為を財政課で行うことは効率的な自治体運営に結びつく。また、入札参加業者選考委員会の開催及び入札結果等の公表により公平性、透明性を確保している。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公共事業の入札・契約であるため。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 法律、条例、規則に基づき公平性、透明性を担保しており、成果を向上させる余地はない。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 履行能力が確認できない業者が参加し、事故や不良工事が増える可能性や、公平性を担保した工事請負、業務委託、物品購入ができなくなり、適切な予算の執行ができなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 建設工事等入札参加資格審査事業 (No.60503000064) と令和6年度から統合
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない システムとサーバーの使用料であり、事業費の削減はできない。また、業務時間については常に効率化を図っており、削減はできない。加えて茨城県共同受付に参加し、各市平等な負担金のみ計上している。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市が行う事業であり、入札参加や契約希望者へのみ等しく受益者負担が発生するため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	茨城県の共同受付への参加や郵送から電子メールへの切り替え、郵便入札の導入、令和6年度には電子入札システムを導入し、事務の効率化を図った。本事務は常に制度改革や社会情勢の変化が起るため、それらを反映するために地域の事業者の意見などを参考にしつつ、今後も桜川市に合った入札制度を維持しながら必要に応じて見直していく必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 電子入札システムを導入するにあたって、現在すべての事業者が対応できるわけではありません。そのため、事業者の意見を参考にしながら、桜川市に適した入札制度を維持しつつ見直していく必要があります。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>